

令和7年度 2学期 教育活動に関するアンケート（保護者用）

A そう思う B だいたいそう思う C あまり思わない D 思わない

<全体>	全体割合				A+B 割合	R7 1学期	5%以上増◎ 5%以上減▲
	A	B	C	D			
1. お子さんは、学校に行くのが楽しいと思っている。	61	34	5	0	95	87	◎
2. お子さんは、学校・地域で元気に挨拶をしている。	32	53	12	3	85	82	
3. お子さんは、友達と仲良くしている。	41	53	6	0	94	97	
4. お子さんは、決められた時間の家庭学習をしている。	31	32	29	8	63	71	▲
5. 先生は、子どもにわかりやすい授業をしている。	63	34	3	0	97	95	
6. 先生は、居心地の良い学級にするために努力をしている。	71	24	5	0	95	95	
7. 先生は、子どもの良いところをほめ、間違っただ行動を指導している。	61	31	8	0	92	94	
8. 先生は、地域や保護者と連携しながら活動している。	53	44	3	0	97	95	
9. 先生は、保護者からの相談や要望に適切に対応している。	56	42	2	0	98	95	

<分析>

○成果

- ・前回より5項目で、肯定的評価の割合が高くなった。特に、項目1（楽しい）は8%上昇した。
- ・1学期の課題であった項目2（挨拶）、項目5（わかりやすい授業）も少しではあるが上回った。

▲課題

- ・項目4（家庭学習）は、前回も肯定的意見が7割に留まり、課題となっていたが、今回はさらに8%下回った。

※原因と対策

- ・項目4（家庭学習）
児童アンケートでは、1学期同様87%の児童が肯定的回答をしているが、保護者アンケートでは更に下がり、今回も結果に食い違いが見られる。また、職員アンケートでも宿題の取組に課題を感じている職員が増えている。以上のことから、単純に宿題をしない児童が増えたと考えられる。授業で「わかったこと」を「できる」にするために、宿題は必要なものであることを児童に説き、励まして取り組ませる。また、成功体験を積み上げることも大切なので、児童にタブドリをどこまでするのか目標をたてさせて取り組むなど、工夫していく。ご家庭でも、宿題をしているかどうか時々見て頂ければ有難いです。

【学校へのご意見】

- ・特性に合った声掛けや指示の仕方をしてほしい。特別な対応をする時は一度伝えてほしい。毎日とは言わないが、問題行動をした時は教えて欲しい。
- ・宿題で漢字が出てわからないことが多く、国語の教科書だけは音読がなくても毎日持ち帰らせてほしいです。
- ・些細なことですが、小中学校で行事が重ならないようにして欲しいです。よろしくお願いいたします。
- ・パソコンの宿題をやめる、もしくは極力減らして欲しい。（何をやっているか横に付き添って見守らない限り全くわからない。宿題だと思ったら動画を見て遊んでいることも多いので。）
- ・連絡手段を一本化して欲しい。連絡アプリだったり、子供経由の紙面だったり、連絡帳だったり、で、後から見直す時に探すのが大変。
- ・クラスルームという機能がなんなのか、用途はなんなのか、ルールなども含め、保護者に説明してほしい。（もしかしたら導入時に説明されているのかもしれませんが、転入の我々にはわかりません）
- ・検定の申込の度に、補助申請の通帳コピーを提出するのはなぜでしょうか。重要書類なので何度も何度も紙にして提出するのはどうかと思います。
- ・本件とは別件かもしれませんが、資源回収活動はなぜ出欠をとっていないのでしょうか。同じくPTA活動の奉仕活動は出欠確認があるのに資源回収はなく、かつ参加率も非常に低いので気になりました。